

平成30年度秋～冬学期チューターの募集について

業 務 内 容

- ①日本語日本文化教育センター(箕面キャンパス)で学ぶ留学生に対するチュートリアル(学習補助や生活上の助言等)の実施
- ②毎月末、留学生の担当教員に対し、実施したチュートリアルの内容や留学生の現況を報告(箕面キャンパスにある教員の研究室まで赴くことが必要となります)
- ③毎月末、日本語日本文化教育センターの事務室に実施報告書を提出

チュートリアル対象留学生

詳細は3頁目をご覧ください。なお、採用の際には、対象留学生への割り振りは当方で行いますので、留学生の種別を事前に希望することができません。

- ① Uプログラム学生(大学入学前予備教育課程に在籍する国費学部留学生)
- ② Jプログラム学生(日本語・日本文化研修留学生)(国費留学生)
- ③ Mプログラム学生(メイプル・プログラムで研修を受ける交換留学生)
- ④ Gプログラム学生(大学入学前予備教育課程に在籍する私費学部留学生)

実 施 場 所

原則として箕面キャンパス(但し、担当する留学生との相談により適宜実施場所の変更可)

雇 用 期 間

平成30年10月～平成31年2月

※期間内に20時間実施(週1回程度 1回1時間程度)

※留学生とチューター双方の都合が合えば土・日・祝日においても実施可。

募 集 人 員

70名程度

応 募 資 格

大学院生、または、学部生 2年生以上 (平成30年10月時点)

給 与

チューター謝金単価による [909円/時間]

応募方法

- (1) 所定の応募用紙を次の方法で入手してください。
 - i) 国際教育共通事務室日本語日本文化教育センター係において配布
 - ii) KOAN 掲示板又は本センターHP からダウンロード
- (2) 応募用紙に必要な事項を記入の上、次のいずれかの方法で提出してください。
 - i) 日本語日本文化教育センター事務室窓口へ直接持参
(箕面キャンパス日本語日本文化教育センター棟 1 階
窓口が開いている時間は平日の 10:00~11:30 12:30~16:30 です。)
 - ii) 次のアドレスに応募用紙を添付ファイルで、メール送信
送付先アドレス: cjlc@office.osaka-u.ac.jp

※メール出願の際の注意事項

- ① 応募用紙を添付の際は、必ずパスワードを設定してください。また、パスワードは、添付ファイルと別メールでお知らせください。
- ② メール出願の際は、写真データを写真貼付欄に挿入してください。
- ③ 所定書式(Excelファイル)での送信が困難な場合は、PDFでの提出も可。

採用方法

- ① 面接を行い、チューター候補者を選定し、合格者にはその旨、8月3日(金)までに通知します。ただし、過去に日本語日本文化教育センターでチューターを担当したことのある方につきましては、面接を免除いたします。
- ② 選定された候補者の中からチューター配置が必要な留学生の種別・人数に応じて採用者を決定しますが、新規留学生が9月末に渡日した後に割り振りを行いますので、本採用の通知は10月初旬になる予定です。
- ③ 留学生数の変動により、採用されないことがありますので、その点、あらかじめご承知おきください。ただし、今回採用されなかった方で、来年度春～夏学期のチューターを希望される場合、優先的に採用します(対象者には意向調査を実施予定)。

応募締切

平成30年 7月 5日(木) 午後4時30分(時間厳守)

面接予定日

平成30年7月9日(月)～7月20日(金) ※土日祝を除く

※ 面接日程については、後日メールで連絡します。

書類提出先 及び 問い合わせ先

日本語日本文化教育センター(箕面キャンパス:日本語日本文化教育センター棟 1 階)
窓口が開いている時間 10:00~11:30 12:30~16:30 です。

TEL: 072-730-5075, 5076

E-mail: cjlc@office.osaka-u.ac.jp

日本語日本文化教育センターHP <http://www.CJLC.osaka-u.ac.jp/japanese/>



(Email)



(HP)

チュートリアル対象留学生について

① Uプログラム学生(大学入学前予備教育課程に在籍する国費学部留学生)

Uプログラム学生は、日本語日本文化教育センターの大学入学前予備教育課程に在籍する学部留学生で、課程修了後、日本の国立大学の様々な学部(経済学部、文学部、法学部、工学部、理学部など)に1年生として入学することになるため、4月からの1年間で、学部での修学に堪える日本語運用能力を身につけることが必要とされます。4月に来日した時点の日本語レベルは、未習から上級まで様々ですが、10月の段階では当初未習者であった学生でも日常生活に困らない程度の日本語運用能力があります。

チューターは、留学生が履修する授業科目(主として日本語科目)に関する学習補助を行うことが中心となります。なお、学部留学生の多くは、月曜 1,2 限、火曜 1,2,3,4 限、水曜 1,2,3,4 限、木曜 1,2,3,4 限、金曜 1,2,3,4 限に授業があるため、それ以外の時間帯でチュートリアルをしてもらうことになります。また、試験期間前には集中して学習補助を行わなければならないこともあります。

② Jプログラム学生(日本語・日本文化研修留学生)

Jプログラム学生は、母国の大学では日本研究学科に在籍する留学生で、自らの日本語運用能力及び日本文化理解の向上のため本センターで1年間の教育を受けます。入学時期は毎年9月末になります。もともと、日本語や日本文化を専攻とする学生ですので、9月末に来日した時点で日常生活に困らない程度の日本語運用能力をもっています。

チューターは、留学生が履修する科目(日本語科目や日本文化科目)に関する学習補助の他、図書館などでの文献調査や、資料の読解、論文・レポートの添削、発表会の準備の手伝いなどが期待されます。日本での生活になれている学生も多いですが、初来日の学生もいますので、学生生活上の助言を行ってもらう場合もあります。

③ Mプログラム学生(メイプル・プログラムで研修を受ける交換留学生)

Mプログラム学生は、大阪大学交換留学生用教育プログラム(メイプル・プログラム)で学ぶ、本学の学術交流協定校から来た交換留学生です。9月末に来日した時点での日本語レベルは、初級修了から上級まで様々で、専攻が日本関連分野以外の学生もいます。

チューターは、秋～冬学期は留学生が履修する授業科目(主として日本語科目)に関する学習補助の他、留学生の学生生活上における助言を行うこととなります。また、来学期もチューターをする場合は、留学生との異文化理解活動に参加してもらうことになります。

④ Gプログラム学生(大学入学前予備教育課程に在籍する私費学部留学生)

Gプログラム学生は、来年4月より、大阪大学の各学部に進学することが決まっている学生です。10月から3月までの半年間、日本語日本文化教育センターに在籍し、学部での修学に堪える日本語運用能力を身につけます。日本語は、既に上級レベル(N2以上)があります。

チューターは、留学生が履修する授業科目(主として日本語科目)に関する学習補助、及び、阪大における修学事情についてアドバイスすることが中心となります。なお、学生の多くは、月曜から金曜まで、5限目以外はほとんど授業が入っていますので、それ以外の時間帯でチュートリアルをしてもらうことになります。また、試験期間前には集中して学習補助を行わなければならないこともあります。